

2025年12月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年 8 月 8 日
東

上 場 会 社 名 株式会社五健堂ホールディングス 上場取引所
コ ー ド 番 号 9146 URL <https://www.gokendo.co.jp/>
代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蓮尾 拓也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 不破 洋伸 (TEL)075(612)6688
中間発行者情報提出予定日 2025年 9 月 26 日 配当支払開始予定日 2025年 9 月 5 日
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期中間期の連結業績 (2025年 1 月 1 日～2025年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	5,294	1.1	404	39.5	428	35.6	241	58.7
2024年12月期中間期	5,236	20.8	290	9.2	315	△15.1	152	△37.0

(注) 中間包括利益 2025年12月期中間期 241百万円 (65.2%) 2024年12月期中間期 146百万円 (△39.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	186. 60	185. 42
2024年12月期中間期	117. 62	116. 86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	13,300	3,917	29.5
2024年12月期	12,880	3,694	28.7

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 3,917百万円 2024年12月期 3,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	10. 00	15. 00	25. 00
2025年12月期	10. 00		
2025年12月期(予想)		—	—

(注) 2025年12月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	11,028	2.2	703	33.1	703	27.7	411	29.2	317.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 除外 一社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示（中間期） : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	1,295,000株	2024年12月期	1,295,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	－株	2024年12月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	1,295,000株	2024年12月期中間期	1,295,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、一部で足踏みがあるものの穏やかな回復基調が継続している一方で、原油・素材価格の上昇、人手不足、金利の上昇、米国経済の動向等、複合的な懸念材料が存在することを受けて、企業や消費者の景気見通しについては、先行きに対する警戒感が根強く、不透明感が残る状況となっております。

そのような環境下において当社グループは、今年度の基本方針として、売上高の拡大を優先するのではなく、利益率の改善に注力することを掲げて業務を推進して参りました。その結果、売上高は、前年同期比で57,626千円増加(1.1%増)と微増に止まったものの、売上原価につきましては、燃料費が同19,044千円増加(12.8%増)や労働力不足補完のための派遣費用を中心とした外注費が同45,662千円増加(20.1%増)等の利益圧迫要因があった中、庸車費用の同179,469千円減少

(25.6%減)や道路使用料の同14,476千円減少(9.8%減)等を主因として、売上原価全体では102,088千円の減少(2.6%減)となりました。

その結果、売上高総利益率が前年同期比で2.7%改善され、1,414,537千円の売上総利益が確保できたことを受けて、賃上げによる人件費増加等を中心とした販管費の増加分45,060千円を吸収することが可能となり、前年同期比で58.7%増の中間純利益確保につながったものです。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は5,294,168千円(前年同期比1.1%増)、営業利益は404,739千円(同39.5%増)となり、売電収入や補助金等の営業外収益が上乘せされ、経常利益は428,184千円(同35.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は241,652千円(同58.7%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①総合物流マネジメント事業

総合物流マネジメント事業につきましては、上述のとおり利益確保に注力したこともあり、ほぼ前年同期並みの売上となりました。しかしながら、経費削減による利益率向上に努めた成果が出てきており、前年同期比で125,216千円増の営業利益確保となりました。

この結果、セグメント売上高4,321,108千円(同0.1%増)、セグメント利益335,865千円(同59.4%増)となりました。

②フード&サービス事業

フード&サービス事業につきましては、中核である(株)F&Sのコメダ珈琲部門が新規出店やインバウンドの効果もあり、セグメント全体の売上は、前年同期比で増加したものの、原材料・光熱費の高騰や賃上げに伴う人件費の増加等があり、営業利益ベースでは前年同期比で減収となりました。

この結果、セグメント売上高973,060千円(同5.8%増)、セグメント利益66,473千円(同16.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ164,339千円減少し、3,720,857千円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が199,433千円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ583,764千円増加し、9,579,168千円となりました。これは主に、「第8物流センター」建設（「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」参照）に係る「建設仮勘定」が502,410千円、「建物及び構築物（純額）」が37,018千円増加したこと等に伴い、有形固定資産が512,507千円増加したことによるものであります。

その結果、当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ419,425千円増加し、13,300,025千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ501,092千円増加し、3,880,004千円となりました。これは主に、「短期借入金」が585,784千円、「未払法人税等」が96,178千円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ303,849千円減少し、5,502,888千円となりました。これは主に、「長期借入金」が281,856千円減少したこと等によるものであります。

その結果、当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ197,243千円増加し、9,382,892千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ222,182千円増加し、3,917,132千円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上に伴い「利益剰余金」が222,227千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ74,814千円増加し、1,916,685千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は770,637千円であります。税金等調整前中間純利益435,382千円に対し、減価償却費(のれん償却を含む。)375,302千円が主な増加要因であり、一方、その他負債の減少額75,554千円、法人税等の支払額131,924千円等が主な減少要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は811,425千円であります。支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出760,848千円、定期預金の預入による支出57,189千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は115,603千円であります。主な増加要因は、短期借入金の借入による収入585,784千円、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出580,465千円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国の経済環境につきましては、米国関税ショックの影響が緩和され、内需回復を背景に穏やかな成長基調に移行することが見込まれております。その一方で外部環境の不確実性や選挙後の財政政策も景気を左右する要因となり得ることから、依然として注視していくことが必要であり、回復期待とリスクが交錯する、不透明な状況が継続するものと思われれます。

そのような環境下ではありますが、当社グループにつきましては、主力である総合物流マネジメント事業を核として、増収及び確実な増益を実現するべく、引き続き積極的な事業展開を図ってまいります。

各セグメント別の見通しとして、総合物流マネジメント事業については、本年7月1日付で当社グループの食品物流の中核子会社である(株)五健堂ロジ・(株)BRIDGE・(株)PRIDEの3社について、(株)BRIDGE及び(株)PRIDEを吸収分割会社とし、(株)五健堂ロジを吸収分割承継会社とする会社分割(吸収分割)を実施しております。これについては、重複する業務の整理と人的リソースを中心とした経営資源の最適活用を図るものであり、利益率向上へ着実に寄与するものと考えております。

また前期に、(株)六ツ星運送が事業譲受により取得した伊勢原営業所(神奈川県)と小牧営業所(愛知県)につき、前期は時価ベースで取得した車両の減価償却費等の特殊要因もあって、利益計上ができていなかったものの、今期につきましては、この上半期は当社グループの収益向上に貢献してきており、下半期についても堅調な推移を見込んでおります。

同事業部門の設備投資としては、昨年10月に着工した「第8物流センター」が、当年7月に竣工しております。常温倉庫と冷蔵設備を備えた延床面積8,193.59㎡の物流センターとなっており、当初は、賃料収入が先行して発生し、運送・倉庫業務の本格稼働は来期からとなりますが、開始に伴い業績伸長に大きく寄与するものと考えております。

もう一つのセグメントであるフード&サービス事業につきましては、コメダ珈琲部門が新店出店やインバウンド効果、また猛暑の影響もあり、売上高は堅調に推移しており、全体では前年同期比で5.8%増となっております。一方で原材料や光熱費の高騰、また賃上げによる人件費の増加が収益の圧迫要因となっておりますが、この6月にドリンク類の価格改定が実施されており、収益率アップが見込めるものと判断しております。

これらを踏まえ、2025年12月期の連結業績見通しにつきましては、売上高11,028,422千円(前連結会計年度比2.2%増)、営業利益703,097千円(同33.1%増)、経常利益703,802千円(同27.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益411,777千円(同29.2%増)を予想しております。

なお、経済状況の見通しについては、現時点における当社の予想及び仮定を前提としております。そのため、不確実性を内包しており、今後の業績、財務状況等につきましては、様々な要因により変動する可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,398,636	2,443,010
受取手形及び売掛金	1,160,711	961,278
棚卸資産	94,281	125,058
その他	237,766	197,237
貸倒引当金	△6,200	△5,727
流動資産合計	3,885,196	3,720,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,195,866	4,232,884
土地	2,435,880	2,435,880
建設仮勘定	474,173	976,583
その他(純額)	860,197	833,276
有形固定資産合計	7,966,117	8,478,625
無形固定資産		
のれん	245,544	193,177
その他	20,673	32,701
無形固定資産合計	266,218	225,879
投資その他の資産	763,067	874,663
固定資産合計	8,995,403	9,579,168
資産合計	12,880,599	13,300,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	508,534	462,556
短期借入金	785,000	1,370,784
一年以内返済予定の長期借入金	962,698	864,089
リース債務	137,210	156,180
未払法人税等	137,986	234,165
賞与引当金	63,950	130,644
その他	783,530	661,584
流動負債合計	3,378,911	3,880,004
固定負債		
長期借入金	4,788,064	4,506,208
リース債務	416,682	410,829
退職給付に係る負債	86,917	91,322
資産除去債務	294,326	296,684
その他	220,746	197,844
固定負債合計	5,806,737	5,502,888
負債合計	9,185,649	9,382,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,500	496,500
資本剰余金	470,000	470,000
利益剰余金	2,731,815	2,954,043
株主資本合計	3,698,315	3,920,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,365	△3,410
その他の包括利益累計額合計	△3,365	△3,410
純資産合計	3,694,950	3,917,132
負債純資産合計	12,880,599	13,300,025

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年 6 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月30日)
売上高	5,236,542	5,294,168
売上原価	3,981,719	3,879,630
売上総利益	1,254,823	1,414,537
販売費及び一般管理費	964,738	1,009,798
営業利益	290,085	404,739
営業外収益		
受取利息	24	953
受取配当金	288	381
為替差益	115	—
売電収入	—	8,488
保険解約収入	240	1,443
受取家賃	5,930	6,302
補助金	1,381	10,041
燃費補償	10,110	—
事故保険金	9,225	13,540
その他	16,642	14,825
営業外収益合計	43,958	55,976
営業外費用		
支払利息	15,959	30,401
為替差損	—	867
その他	2,212	1,262
営業外費用合計	18,172	32,532
経常利益	315,871	428,184
特別利益		
固定資産売却益	9,552	7,641
特別利益合計	9,552	7,641
特別損失		
固定資産除却損	65	443
特別損失合計	65	443
税金等調整前中間純利益	325,358	435,382
法人税、住民税及び事業税	194,394	227,577
法人税等調整額	△21,351	△33,848
法人税等合計	173,043	193,729
中間純利益	152,314	241,652
親会社株主に帰属する中間純利益	152,314	241,652

②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)		
	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	152,314	241,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,020	△45
その他の包括利益合計	△6,020	△45
中間包括利益	146,294	241,607
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	146,294	241,607
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	325,358	435,382
減価償却費	330,534	322,935
のれん償却	52,366	52,366
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△921	△473
賞与引当金の増減額 (△は減少)	39,094	66,693
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,591	4,405
受取利息及び受取配当金	△313	△1,335
支払利息	15,959	30,401
固定資産売却益	△9,552	△7,641
固定資産除却損	65	443
為替差損益 (△は益)	△115	867
保険解約収入	△240	△1,443
補助金	△1,381	△10,041
売上債権の増減 (△は増加)	26,636	199,433
棚卸資産の増減 (△は増加)	8,688	△30,777
その他資産の増減 (△は増加)	27,169	△3,466
未払消費税等の増減 (△は減少)	80,057	△11,963
未払費用の増減 (△は減少)	15,244	△45,978
前受収益の増減 (△は減少)	△33,107	△24,560
資産除去債務の増減額 (△は減少)	2,367	2,357
その他負債の増減 (△は減少)	22,156	△75,554
小計	908,656	902,052
利息及び配当金の受取額	307	1,183
利息の支払額	△14,465	△26,292
補助金の受取額	1,381	10,041
法人税等の支払額	△154,631	△131,924
法人税等の還付額	10,366	15,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	751,614	770,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△36,200	△57,189
定期預金の払戻による収入	60,000	87,781
無形固定資産の取得による支出	—	△15,115
有形固定資産の取得による支出	△57,976	△760,848
有形固定資産売却による収入	9,975	11,619
投資有価証券の取得による支出	—	△15,000
保険積立金積立による支出	△17,068	△17,125
保険積立金解約による収入	870	3,110
事業譲受による支出	△1,150,311	—
その他	△3,549	△48,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,194,260	△811,425

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年 6 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	585,784
長期借入金の返済による支出	△482,336	△580,465
長期借入金の借入による収入	1,535,000	200,000
リース債務返済による支出	△30,326	△70,290
配当金の支払による支出	△24,605	△19,425
財務活動によるキャッシュ・フロー	947,732	115,603
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	505,086	74,814
現金及び現金同等物の期首残高	1,661,354	1,841,871
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,166,441	1,916,685

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額 (注)
	総物流 マネジメント事業	フード& サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,316,553	919,989	5,236,542	—	5,236,542
セグメント間の内部売上高又は振替高	39,353	6,998	46,352	△46,352	—
計	4,355,907	926,987	5,282,894	△46,352	5,236,542
セグメント利益	210,648	79,436	290,085	—	290,085

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結損益計算書計上額 (注2)
	総物流 マネジメント事業	フード& サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,321,108	973,060	5,294,168	—	5,294,168
セグメント間の内部売上高又は振替高	39,823	6,716	46,539	△46,539	—
計	4,360,931	979,776	5,340,708	△46,539	5,294,168
セグメント利益	335,865	66,473	402,339	2,400	404,739

(注) 1. セグメント利益の調整額は、営業外収益との取引相殺による差額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。